

Small Talk台本①（第2時・第4時のはじめ5分）

進め方（文科省の型）：帯活動として2時間に1回。5年は先生の話聞くことを中心に、相手を替えて1～2分×2回。1回目のあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく**本当の気持ち・本当の出来事**を話す。

話題1 先生の家族（第2時）

板書：This is my ～. She/He can ～. [家族の絵か写真・cook / sing の絵カード]

T Hello! Look at this. (絵や写真を見せて) This is my mother.

こんにちは！見て。わたしのお母さんです。

T She can cook well. Curry, gratin, omelets... amazing!

料理がとても上手。カレーも、グラタンも、オムレツも…すごいんです！

T And this is my brother. He can play soccer well.

そしてこれは弟。サッカーが上手です。

T My family is nice! Do you like my family?

いい家族でしょ？（笑いが起きたら成功）

S Yes! / Nice!

（反応できれば十分。まだ話させなくてよい）

つまった子への助け舟：写真は不要。棒人間の絵でよい（うまくない絵のほうが笑いが起きて場があたたまる）。子どもにも「絵でOK」を最初に見せておくと、第5時のカードづくりで写真の有無が話題にならない。

話題2 この人、だあれ？（第4時・先生の身近な人クイズ）

板書：This is my ～. She/He can ～ well. [cook / draw / play-the-piano の絵カード]

T Quiz time! This person can draw very well. Look! (絵を見せる)

クイズです！この人は絵がとても上手。見て！

T This person can cook, too. Curry, gratin... yummy!

料理もできます。カレーもグラタンも…おいしい！

T Who is this? My mother? My sister? My friend?

だれでしょう？お母さん？妹？友だち？

S Your mother! / Your sister!

（指さし・日本語まじりでOK。当てるのが目的ではない）

T The answer is... my sister! This is my sister. She can draw well.

答えは…妹でした！これがわたしの妹。絵が上手なんです。

つまった子への助け舟：答えを当てさせることより「ヒントを2つ聞いてから答える」という第5時のクイズづくりの型を、先生が先に見せることが目的。当たらなくても大成功。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

1回目のあとに全体で：「He と She、どっちを使うか迷わなかった？」→絵カードを見せて He? She? を全員で瞬時に言い分ける練習（3枚）→2回目へ。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello! / How are you?
くり返す	Soccer? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow! / Really? / Good!
たしかめる	Pardon? / One more time, please.
さらに質問	How about you? / Why?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・5年のSmall Talkは先生の話聞くことが中心。ペアの時間は短くてよい（1分×1回でも成立）
- ・家族ネタは先生が先に自己開示すると教室が安全になる。ただし子どもには「家族以外もOK」を必ず添える
- ・canの文なら三単現の-sが出ない＝文法の壁なしで三人称を話せる。この単元の設計妙はここにある